

## ネパールでのボランティア活動

### 色んな人に出会ってみたい! から生まれた私の挑戦

リハビリテーション学科3年  
E.S.さん



私が学生生活で大事にしていることは、経験を豊富にし、見聞を広げることです。さまざまな経験を積むことで多様な考え方や異なる価値観に触れることができ、視野を広げ選択肢を増やすことに繋がります。そのため、多様な分野のボランティア活動や海外フ



孤児院でのフィールドワーク

ルドワークなど、積極的に新しいことに挑戦するよう  
にしています。  
大学2年生のときに発達障害のある子のサッカー  
スクールボランティアに参加した際には、ドリブル練  
習のときに私が練習を促す声掛けをしても中々ボール  
に意識が向かずに練習できない子がいました。そのと  
き私はどのように対応すればよいのか分からず、今ま  
で学んだ知識を活かせないまま声掛けをすることしか  
できませんでした。しかし、その子がドリブルをやら  
ない理由として、他の対象が気になってしまっからで  
あること、そのためマットを使って気になってしまっ  
ものを隠して視覚的な誘惑を遮断し、ボールに意識が  
向く様に工夫するとよいことを教えてもらい実践した  
ところ、少しずつボールに意識が向いて練習に取り組  
んでくれるようになりました。このことから、学んだ  
ことを実際の現場で活かすことの難しさと、自分自身  
の経験不足を感じました。また、何が原因でその行動  
を行うことが難しいのかを観察して読み取り、環境を  
整えることの大切さを学ぶことができました。



また、以前か  
ら発展途上国で  
の医療に関心が  
あり、一度自分  
の目で見て現状  
を知りたいと  
思ったため、大  
学2年生のとき  
にネパールで開

催されたフィールドワークに参加しました。フィール  
ドワークでは孤児院や現地の日本語学校への訪問、特  
別支援学校・モノづくり工房の見学やホームステイな  
どさまざまな体験をさせていただきました。特別支援学  
校に訪問した際には、発達障害に対する日本との考え  
方の違い、医療面や環境面の課題などについて、実際  
にそこに通う子どもと交流し、現地の方に現状を教え  
てもらったことでよりリアルな実情を知ることができ  
ました。このことから、外国籍の患者さんに関わる際  
はそのバックグラウンドや宗教、生活スタイルなどの  
違いを念頭に入れて、柔軟に支援方法を変えていくこ  
とが求められると感じました。また、実際に足を運び  
現地の人と関わったことで、人々のサービスマインドが旺  
盛で生活は貧しくても心はとても豊かで温かいことを  
知り、発展途上国に対する印象が大きく変化しました。  
挑戦することによって新たな世界を知ることができ  
ると同時に多くの失敗をし、自分自身の課題にも向き  
合うことになりました。しかし、そこでの失敗や課題に  
向き合い、学びを探索し続けることで日々成長してい  
きたいです。そしてこれまで積み重ねてきた経験から  
得た知識、技術をもとに作業療法士として対象者の方  
が望む生活を実現することができるように尽力してい  
きたいです。

## 緑苑祭実行委員会活動で得たこと

### 「頼り、頼られる」 ことの重要性

教育福祉学科3年  
H.U.さん



私は、大学生活で緑苑祭実行委員としてさまざまな  
人と関わってきました。その中で、大切にしているこ  
とは「一人で抱え込みすぎないで、人に相談すること」  
です。  
私は昔から人を頼るのが苦手で、できる限り自分で  
やっていました。しかし、大学2年生になり、緑苑祭



緑苑祭実行委員定例会の様子

の実行委員長となった時、勉強と両立させるのが大変  
になってしまい、やることを抱え込みすぎていました。  
当時の私は、「なんで、委員長なのに頼まれたことを  
全部こなせないのだろう」「私は委員長に本当に向い  
ていないな」と自分を責めることが多かったです。し  
かし、ある日、副委員長と話して、「仕事を抱えすぎ  
だよ。もっと人を頼っていいんだよ」と声をかけられ  
ました。私にとって、思いもしない言葉でした。私は、  
むしろ自分ではできていないと思っていたので、その時  
初めて、自分は頑張りすぎていることに気付きました。  
その後、どうすればいいのか考える場面に当たった  
時は、自分で答えを見つけないで、実行委員全  
体に聞くようにしました。結果的に、自分ではできる範  
囲の仕事を抱えるようになりました。また、他の人の  
意見も聞くことで、実行委員全体の意見を反映し、実  
行委員皆の緑苑祭を作り上げることができました。  
かつての私は、チームとは上の人がしっかりと業務を  
こなし、引っ張っていくことしか想像できませんでした。



緑苑祭実行委員集合写真

座学とは違い学生同士で発表資料を作成するため、  
チームワークが大切になっています。そのため、自分  
1人が頑張るより、周りの意見を聞いてチームで作り  
上げていくことを大切にしています。  
また、「社会福祉実習」と「心理実習」が始まり、色々  
な職場にいけます。現在は生活で困っていることは、  
分野に区切ることができず、さまざまな分野をまた  
がっています。特に福祉、心理は人を相手にする職種  
であるため、その人が困っていることに対して、いろ  
いろな分野の専門家、職種の人と連携することが求め  
られます。実習を通して、チームで大切にしているこ  
と、実際の現場の難しさについてもっと学んでいき  
たいです。そして、その実習をいい学びにするためにも  
自分1人で悩むのではなくゼミの仲間や先生に相談し  
て、よりよい学びにしていきたいです。

しかし、実際に  
実行委員長とし  
て活動して、自  
分1人でこなす  
ことではなく、  
周りを頼り、頼  
られることが大  
切なことを学び  
ました。  
現在私は、「心  
理分野」と「福  
祉分野」のゼミ  
ナールを取っ  
ており、社会福祉  
士を目指して勉  
強しています。  
ゼミナールでは、